



申9号 2023年度 賃金引き上げに関する申し入れ 第1回団体交渉が終了！

ダンベル上げる前に 賃金上げろ！



3月2日、本部は申9号の団体交渉を行い、会社の基本スタンスを引き出してきました。

【新賃金の基本的なスタンス】

- ・基準内賃金、特に定期昇給やベースアップの引き上げは、**総額人件費に多大な影響を及ぼすため**、足元の状況を踏まえつつ、中長期的な動向も勘案して**慎重な判断が必要**。
- ・経営変化に対応するための生産性向上の進捗、業績動向、物価等の経済動向、取り巻く社会状況等を踏まえつつ、**職責・職能・資格等級・生計費水準と様々な要素を勘案して判断する**必要がある。
- ・今後の社会活動の正常化に向けた兆しが見えてきたが、当初計画したご利用状況まで回復していない。いまだに厳しい状況である。
- ・社員の皆さんにおいては、**融合と連携による収益拡大やコストダウン、生産性向上が動き出したところ**である。
- ・コロナ禍の状況からのモードチェンジに向けた波を更に加速して、新たな価値・サービスを提供出来る会社をつくり上げなければならない。

私たちの「労働力の価値」「働き度」「生活実感」に対して、このような回答で納得が出来ますか？

定期委員会の発言で「会社の考えは一貫している、ブれてしまうのは労働者だ」とありましたが、**収益拡大とコストダウン、生産性向上を私たちに求めて、労働者意識がブれていませんか？**

改めて自分自身の労働力（賃金）がこのままでいいのか考えよう！



JR東労組と共に、 職場で働く本当の声を届け、 慎重の声を変革しよう！